

防 除 情 報

長崎県病害虫防除所長

令和3年度病害虫発生予察防除情報第20号

トマト コナジラミ類の防除対策について

トマトにおいて、コナジラミ類の発生圃場率が高い状態が続いています。発生主体であるタバココナジラミは、ウイルス病（黄化葉巻病）を媒介するため、黄化葉巻病の発生が増加する恐れがあります。今後のコナジラミ類の発生状況に留意して防除指導をお願いします。

記

1. 発生状況

1月前期の巡回調査（12筆）の結果、寄生葉率は4.0%（平年 1.5%）、発生圃場率は83.3%（平年 30.6%）であった（図1、2）。

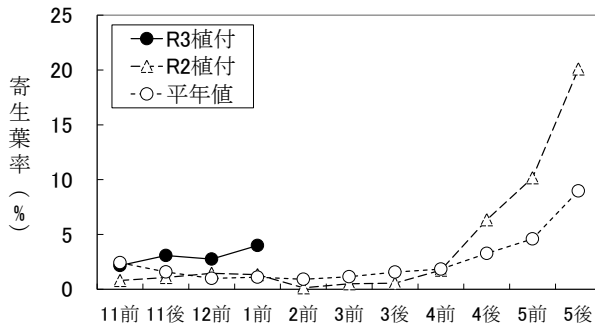


図1 トマト コナジラミ類 寄生葉率

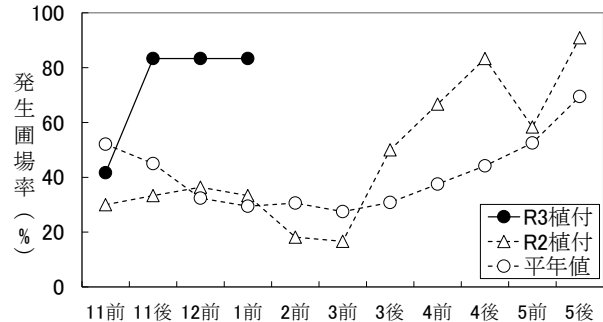


図2 トマト コナジラミ類 発生圃場率

2. 防除対策

- (1) 黄色粘着板等で本虫の発生状況を把握し、防除に努める。
- (2) タバココナジラミは黄化葉巻病の病原ウイルス（TYLCV）を媒介するので、防除を徹底する。
- (3) 薬剤抵抗性発達防止のため、同一系統（令和3年長崎県病害虫防除基準P186～189の「作用機構による分類（IRAC）」参照）の薬剤を連用しない。
- (4) コナジラミ類は葉裏に多く寄生しているので、かけむらがないように丁寧に薬剤散布する。
- (5) マルハナバチを使用するハウスでは、影響の少ない薬剤を使用する。
- (6) 施設内の雑草は、本虫の増殖源となるので除草を徹底する。

○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。
「長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室
（長崎県病害虫防除所）ホームページ」アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせ
長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室
（長崎県病害虫防除所） TEL：0957-26-0027

